

GW輸送も絶好調！

安全・安定輸送のもと、前年を大きく上回る

5月8日に発表された「ゴールデンウィーク期間のご利用状況」によれば、天候や曜日配列にも恵まれかつ、安全・安定輸送の確保により、期間中の新幹線や特急列車のご利用状況は、前年比108%となりました。

特に（数字は対前年比）、秋田新幹線が117%、東北新幹線が109%、上越新幹線が107%、北陸新幹線が104%、山形新幹線が105%と各新幹線のご利用が大幅に増えました。

また、在来線の各特急列車も常磐線特急の「ひたち」「ときわ」が120%、成田エクスプレスが115%となるなど、前年度を大きく上回っています。



賃金が物価上昇に追いつかず

民間の各シンクタンクは、民間企業における夏のボーナス総額予測を発表し、民間企業の支給総額は前年比2.9%増の15兆1千億円を見込んでいます。これは16年ぶりの高水準となり「一人当たりの支給額も2年連続で増加する」としていますが、伸び率は0.5%と「小幅に止まる」としています。

一方で、厚生労働省が5月9日に発表した3月の「毎月勤労統計調査（速報）」では、物価変動の影響を加味した3月の実質賃金は前年同月比で0.8%減となり、賃金が物価上昇に追いついていないことが明らかになりました。

基本給や残業代などの総額は、前年同月比0.4%減の277,512円となり、減少幅は2015年6月の2.5%減以来の大きさとなっています。

生活必需品の値上げが相次ぐ

そのことを示すように、私たちの生活に欠かせないモノの値上げが相次いでいます。



- 大手電力会社10社と都市ガス大手4社の料金が値上げ
 - ティッシュペーパーやトイレトペーパーが10%以上引き上げ
 - バターやチーズが値上げ
- そのほかにも生命保険料やタイヤ、ハガキ、宅急便料金など

3.2ヶ月の 夏季手当要求満額を勝ちとろう！